

# The Soul of Piano

# ピアノの魂

“私らは皆 フィビゲルの子ども”  
ポーランドのピアノ技術者を  
生涯かけて育てた信念の物語



2023.11/26(日) 開場13:30/上映14:00

アクトシティ浜松 研修交流センター 62研修交流室  
〒430-7790 浜松市中区中央3-9-1

**入場無料【要予約】**

◎お問合せ・お申込み

Email:shizuoka@jpta.org

TEL:0537-24-7704

一般社団法人 日本ピアノ調律師協会

監修 ポーランド大使館 広報文化センター



## ピアノに魂は宿るのか？

もしそうなら、それは何なのだろう？ 捉えどころのないものなのか？ それともその魂はピアノの製作者なのだろうか？ 1912年にカリシユで生まれたグストー・アーノルト・フィビゲル三世は、過酷な歴史に翻弄されながら、家業のピアノ製造とポーランドのピアノ技術者を生涯かけて育てた。教え子達が語る感動の物語。

私はこの映画にとっても感銘を受けました。綺麗ですね信じられないほど感情的な綱渡りをして、人間の精神の証。私を魅了したものの最も重要なのはそのスピードでした。映画のリズムというのは何かそれは教えられないこと。優れた監督だけが、それを意識して生まれてきたのです。

**脚本家 ジョエル・コーエン**

**作品 『トイ・ストーリー』 『ガーフィールド』 など**

## 「Calisia」 Arnold Fibiger (アーノルトフィビゲル)

1873年、カリシユに自分の工房を開き、1878年に最初のピアノを製作。第一次世界大戦、第二次世界大戦では大きな被害を受けたが1947年に再開。その後、Fibigerの会社は1948年に国有化され、社名はCalisiaに変更。

フィビゲル家の最後の一人であるグストー・アーノルト・フィビゲル三世は、1953年以来、かつて彼の家族が所有していた工場の総合製造責任になり、ほとんどのピアノのモデルを設計。その後、フィビゲルはピアノ製造技術学校を設立し、そこで講義を行い1955年から1964年まで監督を務めた。(Calisia 2007年生産停止)